

令和8年度 事業計画書

I 基本方針

当公社は、那須塩原市文化会館の管理運営及び利用促進に関する事業をとおり、文化、芸術の振興及び発展並びに創造に貢献するとともに、市民福祉の向上に役立つことを目指しております。

そこで、那須塩原市において、市民の文化及び教養の向上と芸術文化の振興を目的に設置された文化施設が、その機能を十分発揮し、安全かつ快適に利用されるよう、細心の注意をはらい施設の管理を行います。

また、今後も黒磯文化会館及び三島ホールが文化芸術活動の発信拠点となり、那須塩原市の文化芸術活動の灯がともし続けるよう、那須塩原市と十分な連携を図り、文化芸術を鑑賞する機会や参加できる機会の提供を行うほか、市民の主体的な文化芸術活動の支援を行ってまいります。

II 実施計画

1 地域文化振興事業

心豊かで活力のある地域づくりに向け、市民の芸術文化の拠点となるべく、良質な芸術鑑賞の場を提供するとともに、地域住民の文化芸術活動が活発に行われるよう、育成、参加の機会を設け、地域の芸術文化の振興を図ります。

エンターテインメント性の高い事業では収益を確保し、その収益を基に育成事業など、那須塩原市の文化創造の一助を担えるよう事業展開します。

また、事業ごとにアンケートを実施し、来館者のニーズの把握に努め、事業運営に活かしてまいります。

(1) 舞台芸術鑑賞事業

文化芸術が身近なものになるよう、音楽、演劇、舞踊など良質な舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、多様化する利用者ニーズや幅広い年齢層に応じた事業の実施に努めます。

(2) 文化芸術活動育成事業

那須塩原市、学校等と連携し、次世代の文化芸術の担い手を育成する事業を展開します。

市中学校との連携事業は、「那須塩原市中学校音楽祭“第12回合唱フェスティバル”」の開催、「同“第5回吹奏楽フェスティバル”」では、今年度も、那須塩原市教育委員会の協力のもと、日本フィルハーモニー交響楽団メンバーによるゲスト演奏を予定しております。また、夏休み期間中は、

市内小中学校の吹奏楽部と合唱部を対象とした「夏季小中学校文化部活動支援事業」を実施し、各種コンクールに向けた練習の場を提供し、支援を行います。

平成13年度から毎年実施している地域の高校演劇部を対象にした、音響・照明等の舞台技術指導を含めた演劇講習会の実施及び県北地区高校演劇研究大会の運営支援を行います。

昨年度に引き続き「那須塩原市ユース合唱団」の運営の支援を行い、若者を中心とした新たな文化創造に寄与します。

(3) 文化芸術活動参加事業

地域で活動する自主的な芸術活動や文化団体等に対して、発表の機会を提供し、舞台発表の喜びと各種団体相互の親睦を図るとともに日頃の活動を知ってもらい地域文化の普及向上に努めます。

昨年度に引き続き、小学生の体験事業として「文化会館バックステージツアー」を開催します。親子で楽しみながら普段は入ることのできない、舞台の裏側の見学及び照明の操作や実際に音を出す体験をすることで、市民に“舞台”への興味と理解の向上に努めます。

(4) ギャラリー展示事業 (Share Arts なすしおぼら)

市内の公共施設において市が保有する美術品その他の文化資産の展示紹介及び市民グループの作品展示を行うことで、市民に市の文化、芸術、歴史を身近に感じてもらうとともに、新たな芸術文化の創造、発信の契機となるよう芸術文化の醸成を図ります。

2 施設の貸与及び管理運営事業

指定管理者の第7期の2年目となる令和8年度は、地域の芸術文化の活動拠点施設としての役割を十分認識した上で、那須塩原市と締結する「管理に関する基本協定」を遵守し、市関係課と緊密な連携を図りながら、これまで長年黒磯文化会館の管理運営で培ってきた舞台芸術に関する高い専門技術と知識、施設運営のノウハウを生かし、2館の適正かつ効率的な管理運営を行います。そして誰もが安心して施設を利用できるよう安全確保に努め、公共性の高い法人として地域の芸術文化の振興に貢献してまいります。

また施設の利用促進を図るため、これまでのホームページ及び各種SNSの更なる充実を目指すほか、積極的に2館の情報の発信を行います。

施設の老朽化が進む中、令和元年度に策定された那須塩原市有施設の長寿命化計画において、黒磯文化会館は80年間の供用を目標とされております。今後も長期にわたり施設の機能が十分発揮できるよう、日々管理を行い、市所管課へ施設の状況について密に報告していきます。

3 相互扶助（那須塩原市文化会館友の会）

施設の更なる利用促進を図るため、2館のイベント情報等の提供や公社自主事業に関わるチケット購入時の優先予約、料金割引等の特典を充実させ、友の会会員の拡充と定着化に努めます。